

産政党として勝利なる前途を有することは出来ないと思はれる。第一回及第二回政治部會に於て、無産政黨の基調は右翼社會主義を奉する確健なるものでなければならぬことにつき、意見の一一致を見たのであつた。最近問題となる治安維持法案が若し議會を通過するとせば、政黨の綱領に該き、一段の考慮を要するであらう。

#### (八) 組織の時期

政黨組織の時期に關しては種々の意見が立てられる。第一、普選實現後直ちに結黨すべしとするもの、第二、普選實現後の最初の總選舉の後に結黨すべしとするもの、第三、來年の政治季節頃までに行ふべしとするもの等であるが、政治部會に於ては、未だ意見の一致を見ず、唯だ結黨を急がないことに就いては誰も同意であつた。

#### (九) 組織方法

政黨組織の段取りは、各無產階級團體の代表協議會による外は無いと考へられる。第三回政治部會は、無產政黨組織及び國際労働會議の問題を中心として、大阪に全國労働聯合議會を開催することを中心委員會に建議することとした。其の本意を得た結果、二月三日の大阪に於ける労働組合代表會の報告書となつたのである。全國労働聯合議會は

大正十年の市町村制の改正により、市町村公民（市町村の男子）は帝國臣民にして、市町村の住民となり、年齢二十五以上の男子であり且つ二年以來市町村の住民となり、年齢二十五以上の男子である）は總て選舉権及被選舉権を有することとなつた。此の普通選舉に近い地方參政權の大擴張は、無產階級の地方政治運動を喚起するに至つた。而して新しき市町村制による最初の改選が、昨年九月頃より本年の四月にかけて行はれつゝあるのである。此の問題に關し最も直接の利害を有するのは農民組合であつて、同組合は大會の決議により、之れに全力を擧げることになつて居る。既に農民組合の勝利を占めた地方が若干ある。我が政治部に於ては、此の問題に就き第一回部會で協議し、町村會選舉に對する態度として、一、地方の事情により組合の必要と認めたる場合は本部の承認を経て参加すること、二、組合員の立候補は必ず其組合の承認を得た上に本部の諒解を得ることに決定し、之を中央委員會に建議して其の承認を得た。

總同盟所屬組合にして今回の改選に參加しつゝあるもの

不幸にして機の熟せざるものがあつて、一時延期となつたのであるが、今後於ても、適當なる形式によつて各労働組合更に進んでは政治研究會との間に意志の疏通を圖るに努力することは、政治部の希望する所である。政治部は第三回部會に於て、中央委員會監督の下に無產政黨組織の促進運動に關する實行権限を政治部に與へらるべきことを決定し、之を中央委員會に建議して其の承認を得る所となつた。

#### (木) 異 費

黨費に就いては、未だ有力なる意見はないが、年一位會の黨費を議員より徴収すべしとする意見が一部にある。組織労働者の黨費は輕減すべしとの意見もある。此の點は最も難問の一である。

要するに、政治部の調查研究事項は、大概に於て未定稿であつて、今後一層の研究討議を繼續すべきは勿論である。故に一方に於て研究調査を繼續して確定策に急ぐと共に、他方に於て各無產階級團體との間に無產政黨問題に関する連絡と意志の疏通を圖るべきことが、當面の任務であると信する。

#### 第一 地方政治運動

を示せば、足尾聯合會、野田聯合會、關東鐵道労働組合聯合支部（群馬縣）同じく大間々支部（群馬縣）、秋田製材工組合（秋田縣能代町）等であつて、足尾聯合會の如きは、過ぎる二月廿一日、聯合會の勢力と一部町民と結合して足尾公民黨なる地方的無產黨を組織した。尚ほ九州八幡市を中心として、總同盟、八幡同志會其他の無產階級的勢力が糾合されて、近く地方的無產黨が樹立せらるゝ模様である。

無產階級の地方的參政運動は、組合の發達上から見て有利であり、且つ無產階級政治運動の訓練であるが故に、事情の許すものは、之れを行ふべきものと考へる。但し其の運動方針又は運動方法の大綱に就いては、本部及政治部の統制に服すべきである。地方政治運動の幹部と組合の幹部との兼任は、必要に應じて之を認むるも差支なしと信する。此の點に就き、第四回農民聯合大會は、兼任を許すことを議決した。今回の改選に當つては、總同盟と農民組合とは相互に聲援することを申合せた。